

議会報告会 報告書

番号	市民からのご意見・ご要望	場所 (開催日)	議会の対応(市側からの回答も含む)	対応
1	市立病院について、独立採算となり議会の関与の度合いが薄くなるのが心配。変化があるのでしょうか。	荻野運動公園 (5月13日)	2012年4月から、厚木市立病院はそれまでの地方公営企業法の一部適用から全部適用に移行しました。移行により、病院の予算や人事についての権限を、市長から事業管理者に移すことになりました(現在の事業管理者は病院長です)。これまで、議会における特別委員会で、その利点や課題についてを論議し、中間報告等で提言してきました。運営形態が変わりましても、厚木市にとっての重要な公共施設である市立病院は、最終的な責任については厚木市であることに変わりはありません。施設建設や政策医療含め、税金による支出も続きますので、議会としては、これまで通り、引き続き特別委員会を継続し、執行状況の確認や政策的な提言などを行っていくことになります。ご心配いただいております議会の関与の度合いが薄くなるということがないよう、取り組んでまいります。	議会
2	高校野球ができる球場を将来考えてほしい。	荻野運動公園 (5月13日)	現在、市営玉川野球場は、春季及び秋季の高校野球神奈川県予選ブロック大会の会場として使用していますが、夏季神奈川県予選の会場としては、野球場の観客収容規模やグラウンドの広さ等の関係から使用されておられません。 将来の野球場建設については、関係機関等と協議調整を進めながら、研究してまいります。	市

番号	市民からのご意見・ご要望	場所 (開催日)	議会の対応(市側からの回答も含む)	対応
3	給食食材の検査に使用しているATOMTEX-AT130 OAは土の測定ができます。市内の保育所・小中学校全ての土壌を調査してください。保育所での砂遊び、小学校の理科の授業(野菜等栽培)、草むしりや落ち葉清掃など行事、中学校ではそれらに加えて部活、学校で過ごす時間が長いので保護者は大変心配しています。土壌を測らずして正確な汚染状況は把握できません。購入してくださった計測器を有効に活用してください。ぜひ土壌の調査をお願いします。できないわけがないはずです。	荻野運動公園 (5月13日)	市内の公立保育所6箇所、園庭のある民間保育所等26施設及び幼稚園18園の、園庭、砂場、側溝等並びに市内小・中学校36校の側溝、雨樋(どい)の下、校庭の隅の吹き溜(だ)まり及び腐葉土置場の放射線量の測定を、昨年10月に実施しました。 測定結果につきましては、本市が基準値として設定している、毎時0.19マイクロシーベルトを超える数値が2箇所から検出されましたが、直ちに除染作業を行い再測定したところ、基準値以下になり安全な状況となっています。また、その他の測定箇所では、全て基準値を下回っています。 今後は、2回目の放射線量の測定を実施し、その測定結果を踏まえて、土壌の測定につきましても検討してまいります。 なお、民間保育所等及び幼稚園については、これらの施設と調整の上、実施してまいりたいと考えています。	市
4	新施設の特徴の一つに①天井高が高くなっている②照明灯数の増③外光の積極的な取り入れ④大型ふき抜け③の進化とは逆に、室内照明数が増える。天井が高いと照明が多く必要、空調代も上がる。④の大型ふき抜けは高層階の高温化がすすむ(人の熱、PCの熱が上層階へ登る) ●天井高が2.4m high→3.2 highになると(1.3倍)照明確保に$1.3 \times 1.3 = 1.69$倍必要となり、その分電力が必要である。(高さ比の2乗必要)	荻野運動公園 (5月13日)	本市公共施設の建設に当たっては、その都度、地元の建設委員会等が組織され、市民の皆様が快適に御利用いただける施設となるよう、皆様方の御意見をお伺いし、設計を進めています。 設計に際し、公共施設の吹き抜け等の設置や天井の高さは、その施設に要求される機能や室面積、利用人数、使い勝手等の設計条件により決定しています。 御指摘のとおり、吹き抜けや天井が高くなりますと、省エネルギーの観点からは不利となることもありますが、実際の設計に当たっては、高効率な照明器具や自動消灯装置の設置、各室の形態や利用状況等に適した空調設備の選択等、省エネルギーにも配慮しているところです。 先般の震災以来、電力需要がひっ迫し、市民の皆様の節電意識も高まり、エネルギーの節約が社会的なテーマとなっていますことから、公共施設の建設につきましては、一層の節電・省エネルギーの対策に努めてまいります。	市

番号	市民からのご意見・ご要望	場所 (開催日)	議会の対応(市側からの回答も含む)	対応
5	①原発から撤退し、自然エネに切り替える等の陳情2件が不採択になった経緯について	荻野運動公園 (5月13日)	①3月7日に環境教育常任委員会を開き、陳情2本について審査しましたので、その経過と結果につきましてご報告いたします。陳情第3号 原発から撤退し、自然エネルギーへの転換を求める意見書を国に提出することを求める陳情は、委員から、厚木市で可能な自然エネルギーとして何を検討しているか。との質疑があり、理事者から、今年度は3回の検討委員会を開き、太陽光、風力、バイオマス、水力などについて検討している。学校や公民館の屋根への太陽光発電設置の可能性、風力発電の設置などについての調査も行っていきたい。との答弁がありました。また、委員から、今回の福島原発の事故で、広範囲に拡散することがわかるので、自然エネルギーへの転換を求めていくことは必要であり、陳情に賛成したい。との意見や、また、委員から自然エネルギーへの転換は、厚木市としても進めているように、転換できる範囲で検討を進めることが大事である。陳情の原発から撤退し、という部分が重要になるが、現在の電気の供給状態では、原子力の容量が相当広範囲に必要とされ、国がまだ考え方を示していない中で、さまざまな影響を考えると、陳情内容について厚木市の中だけで判断することは難しい。との意見がありました。採決の結果は、賛成少数で、不採択すべきものと決しました。次に、陳情第4号 原子力発電に依存しないエネルギー政策に向けた(仮称)厚木市省エネルギー・再生可能エネルギー推進条例の制定を求める陳情は、委員から、陳情の趣旨にもある負のツケを未来に残さないためにも、まずは自治体からエネルギー政策を変え、国に発信していくことも大切である。現在、再生可能エネルギー検討委員会が設置されていることから、省エネルギー・再生可能エネルギーを推進する条例を制定することで、活動の推進が担保されると考えるため、賛成したいとの意見や、また、委員から、これからの市の取り組みとして、再生可能エネルギーを利用し、どう省エネルギーにつなげるかということは、今議会の中でもさまざまな意見が出ている。再生可能エネルギーが利用しにくい厚木市において、どれだけの効果があるか検討している段階であり、条例として縛るのではなく、今後、幅広い検討をしてもらおうほうが、より大きな成果が得られると思うため、不採択にしたい。との意見がありました。採決の結果は、賛成少数で、不採択すべきものと決しました。	議会
	②中学校の武術必修化に伴う現場教育に携わる先生方の意見聴取について		②議会としては、中学校体育担当教員との話し合いの機会はありません。	議会
	③病院の医師等はどこの大学と提携しているのか。		③東京慈恵会医科大学及び北里大学が協力大学となっています。	市

番号	市民からのご意見・ご要望	場所 (開催日)	議会の対応(市側からの回答も含む)	対応
6	議会報告会は、当面年2回とのことだが、もう少し小廻りをきくものにした方がよい。規模を小さくして、その分、会場や回数を多くして、時間配分も広聴としての役割に重きを置いて欲しい。	文化会館 (5月18日)	これまでも広報広聴特別委員会において、開催数や会場等について議論してきました。目標は年4回(各定例会終了ごと)ではありますが、資料作成準備等に要する時間や、会場準備、運営等に必要な人員確保が課題と考えます。また時間配分については、より多くの市民の皆様からのご意見が頂戴できるよう今後、工夫してまいります。	議会
7	厚木市立病院の今後について常識的に考えて実質的な赤字経営が続くと思われる。市議会としてどう取り組んでいるか。	文化会館 (5月18日)	6月1日に、平成23年度決算が広報され、市立病院は5年ぶりに黒字となったことが明らかになりました。手術件数の増加などにより392万円の黒字だということでした。議会に設置されました市立病院特別委員会で、病院側から説明を受けた際に、「建設コストがかさむため、しばらくは赤字が続くと思うが、経営体制の見直しなどにより、黒字化は可能である」との見通しが示されました。必要な部分についての厚木市からの支出は続きますが、市議会としては、特別委員会を引き続き設置しますので、経営の改善状況などについて今後も把握するとともに、改善が効率よく進むように関与をしてまいります。	議会
8	被災地のガレキ処理の受け入れについてはどうなのか。	文化会館 (5月18日)	昨年の大震災で大量に発生した「震災がれき」につきましては、国の方針の下、全国の自治体が協力して、その処理を分担して行うことが求められていると考えています。 しかしながら、現在、本市においては、ごみ中間処理施設が改修工事中であること、また、平成25年度からは愛川町のごみの全量受入が予定されていること、さらに、市内に最終処分場がないこと等の理由により、現時点での受入れはできません。	市
9	厚木市斎場入口(道路)に大きな案内看板を付けたらと思います。バス道路から建物(斎場)が見えないので工夫してください。	文化会館 (5月18日)	厚木市斎場におきましては、景観の維持や周辺住民の皆様への配慮などから、道路上への案内看板の設置を行っていません。 しかしながら、開場以来市民の皆様の関心も高く、利用者の方々からも案内看板の設置を望む御意見を伺っていますので、今後地域の皆様と案内看板設置に向けた協議をしてまいりたいと考えています。	市